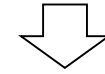
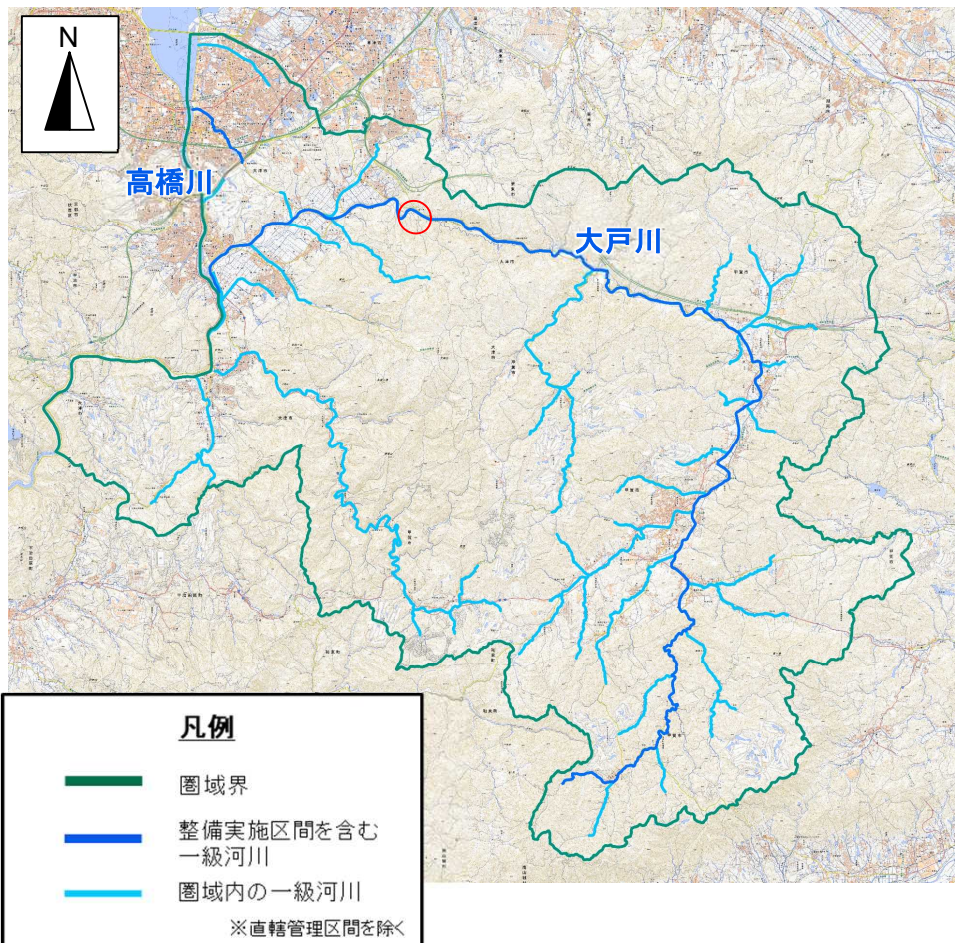




2.4 維持管理に関する取り組み(補修①)

大津土木事務所管内 大戸川

大雨等により壊れた護岸の補修等を実施し、洪水時に水を安全に流下できるよう対策を進めている。



令和2年度完了

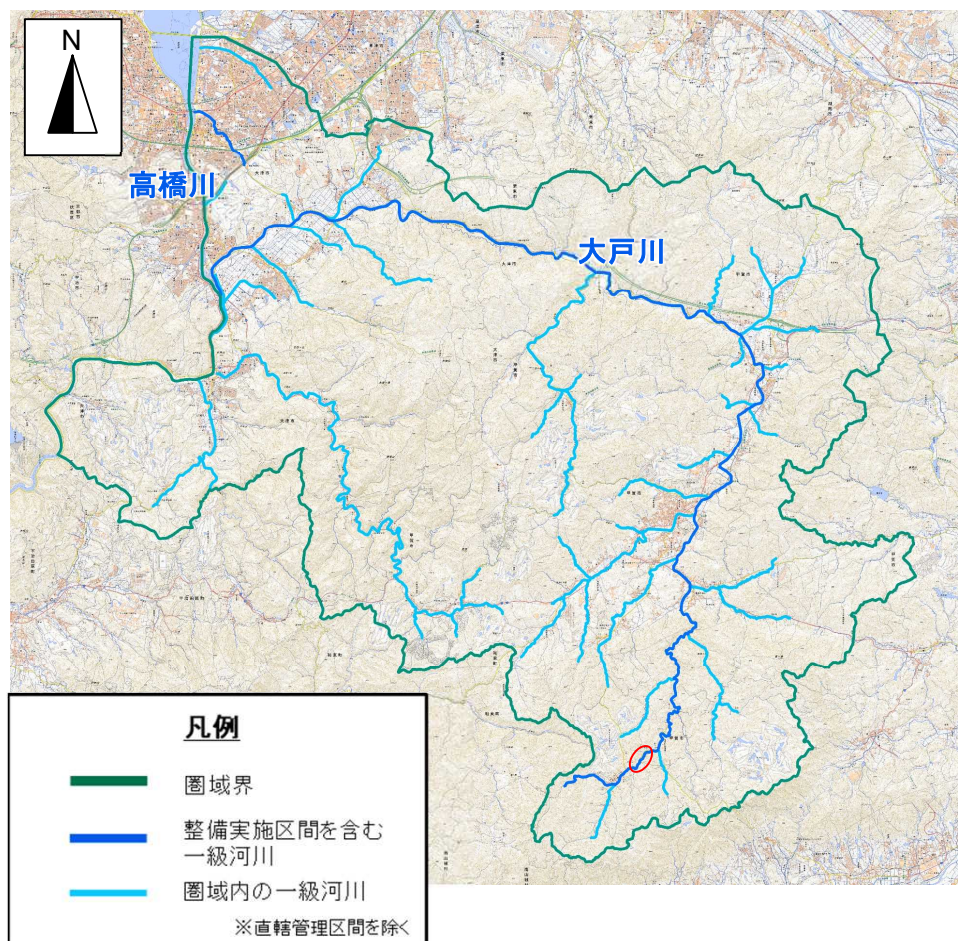
令和2年度完了



2.4 維持管理に関する取り組み(補修②)

甲賀土木事務所管内 大戸川

河床洗堀による護岸の崩壊を事前に防止するための対策を実施し、既設護岸の機能維持に努めている。



令和3年度完了

令和3年度完了



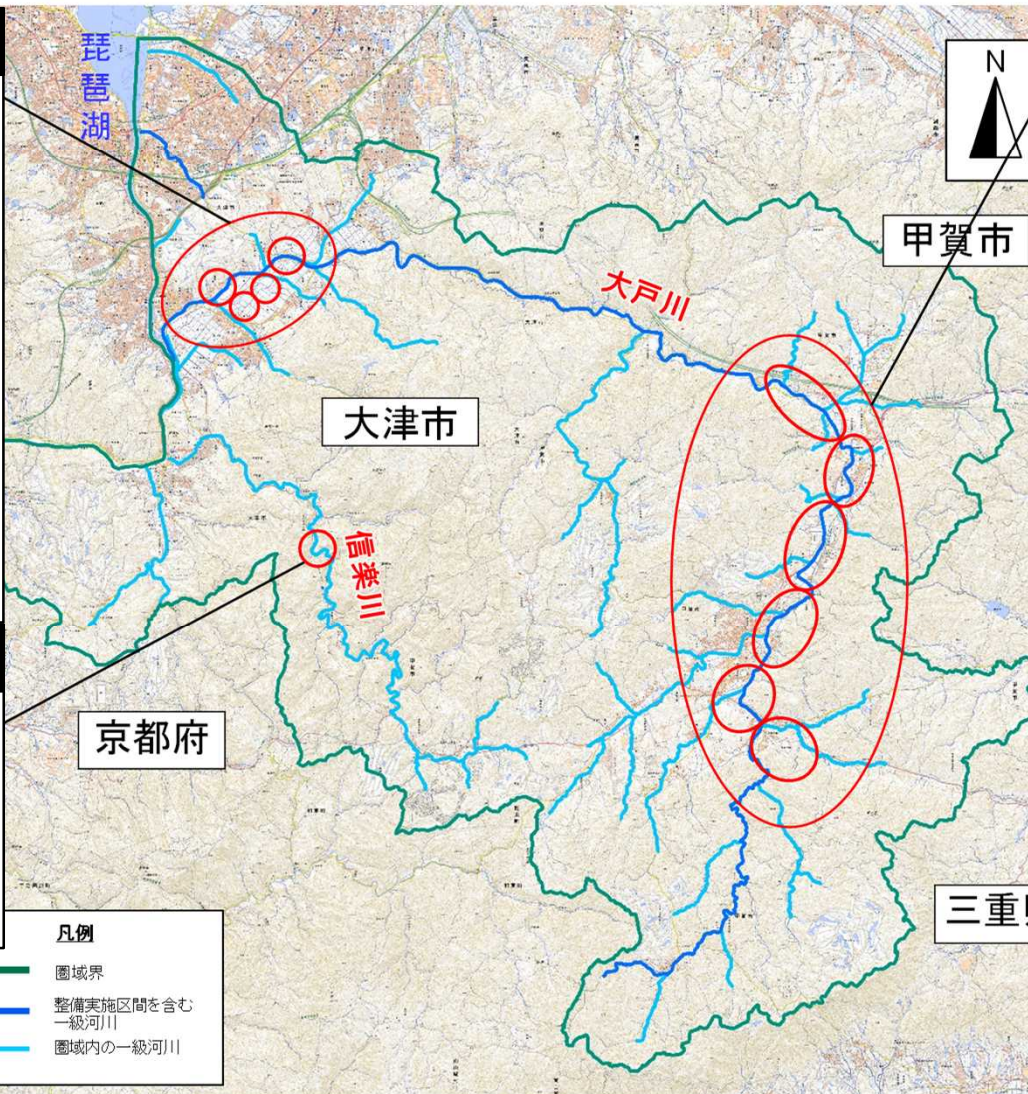
2.5 水害に強いまちづくり

圏域内の取組状況

大戸川下流 (4地区)



信楽川 (1地区)



大戸川上流 (6地区)

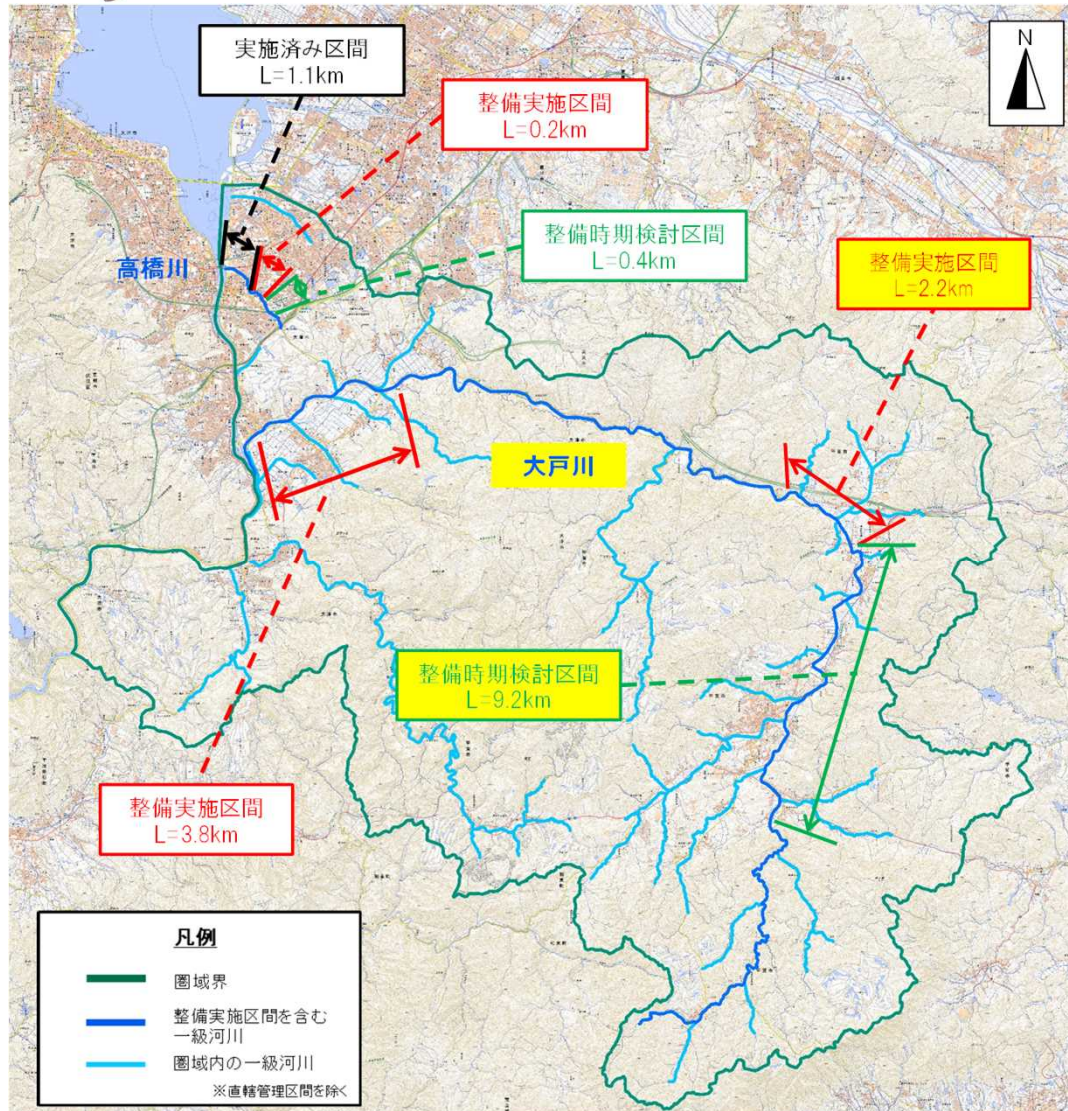




3. 信楽・大津圏域河川整備 計画の変更内容について



3.1 河川整備計画の変更対象河川

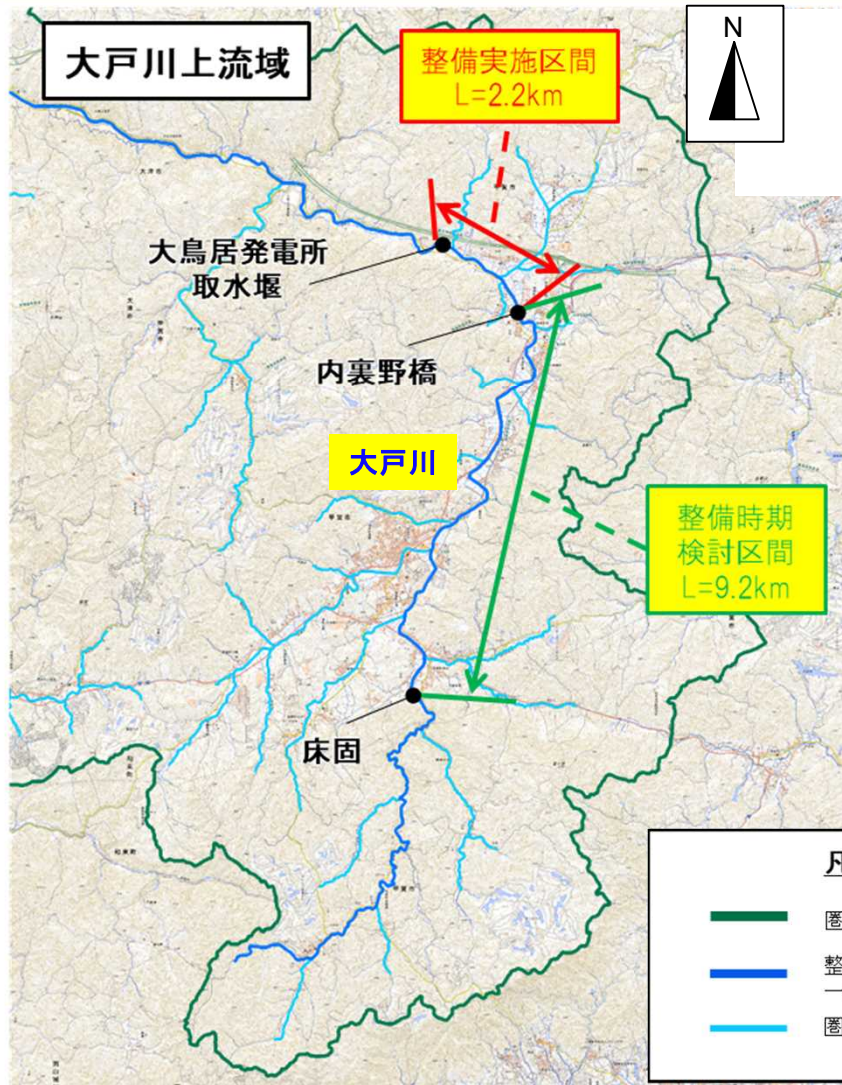
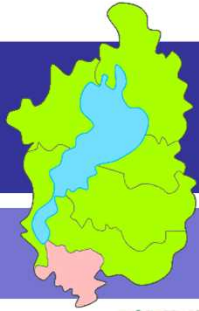


凡例

- ↔ **実施済み区間**
既に整備が完了している区間
- ↔ **整備実施区間**
整備計画期間中に整備を実施する区間
- ↔ **整備時期検討区間**
整備の実施時期を検討する区間

■ : 整備計画の変更対象

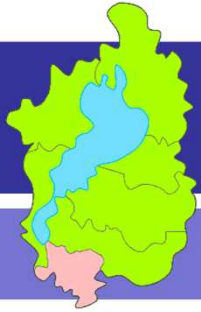
3.1 河川整備計画の変更対象河川



凡例

- ←→ 実施済み区間
既に整備が完了している区間
- ←→ 整備実施区間
整備計画期間中に整備を実施する区間
- ←→ 整備時期検討区間
整備の実施時期を検討する区間

■ : 整備計画の変更対象

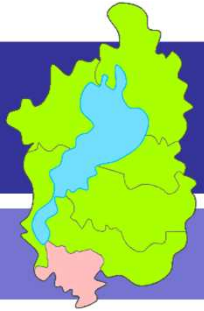


3.2 河川整備計画の変更内容

河川名		当初計画(H25.3認可)		今回変更計画	
		整備内容	延長(km)	整備内容	延長(km)
大戸川	下流	整備実施	3.8	変更なし	
	上流	—		整備実施	2.2
高橋川		整備実施	0.2	変更なし	
		整備時期検討	0.4		



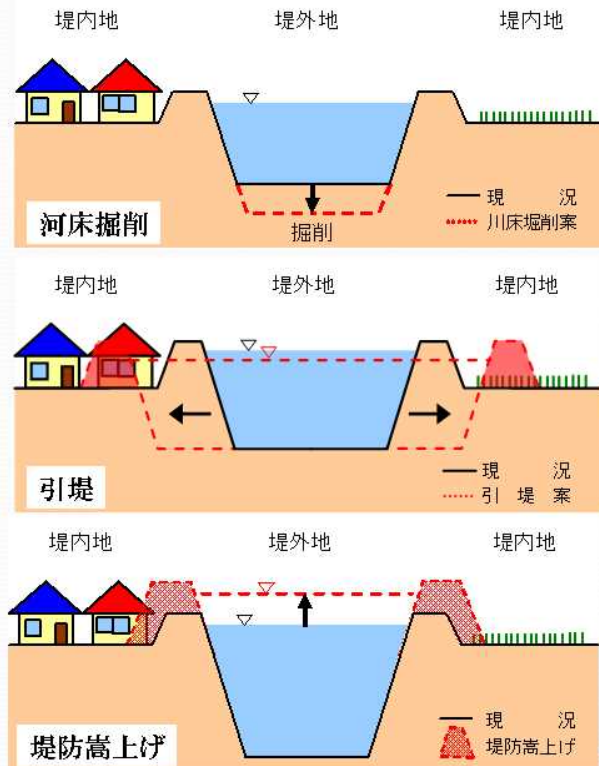
4. 河川整備計画変更対象河川の 整備内容について



4.1 浸水対策の考え方

(1) 河道改修

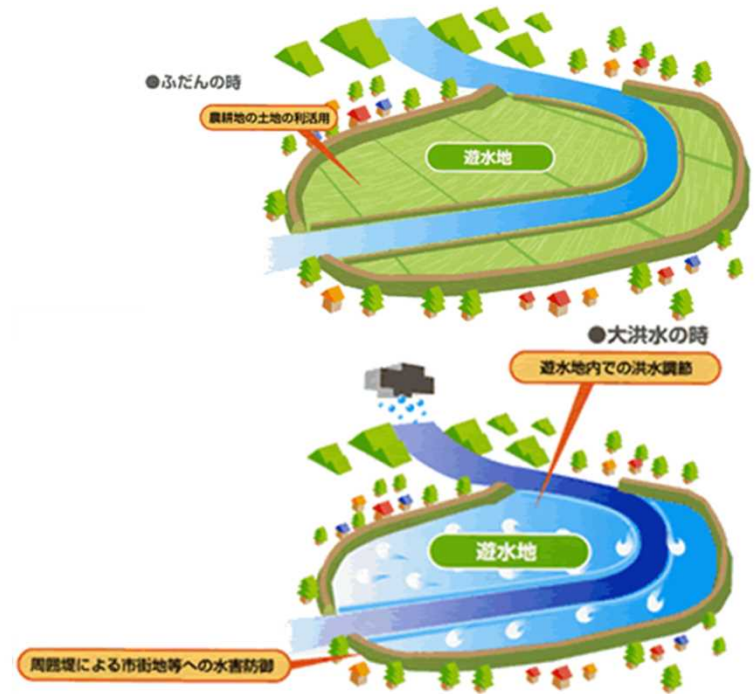
(現河川の改修等)



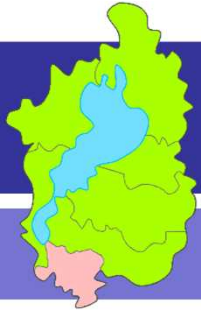
(2) 放水路整備



(3) 遊水地(調整池)



出典: 国土交通省 東北地方整備局HP



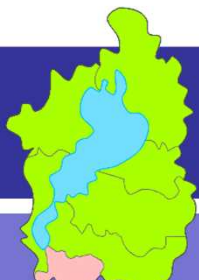
4.2 気候変動への適応

気候変動に伴う降雨量変化を踏まえた本県の対応方針

- 近年、全国各地で毎年のように水害が起こっており、**今後も気候変動により、さらに激甚化・頻発化**することが懸念。
- 国の分析によると、**全国的に気候変動に伴い降雨量が増大**することが予測されており、**本県においても同様の傾向**となることを確認。
- 本県における気候変動に伴う降雨量の増大への対応について検討したところ、以下の方針とした。

・**県内の多くの河川**については、県内観測最大である明治29年9月降雨が考慮された彦根雨量観測所のデータを元に計画されていることから、**既に気候変動に伴う降雨量の増大に対応した計画**となっていることが分かった。

・ただし、大戸川などの**比較的流域面積の大きな河川**については、各河川流域内の雨量観測所データを元に計画されていることから、**各河川において気候変動に伴う降雨量の増分を見込んだ治水計画を検討し、現行の河川整備状況も踏まえた上で、計画に位置付けるタイミングなどの対応方針**を検討することとした。



4.3 大戸川

① 流域概要(再掲)

流域面積: 190km²
流路延長: 約38km

中流域
(大鳥居発電所取水堰)



中流域(内裏野橋)



上流域
(大戸川北流上流の床固め)



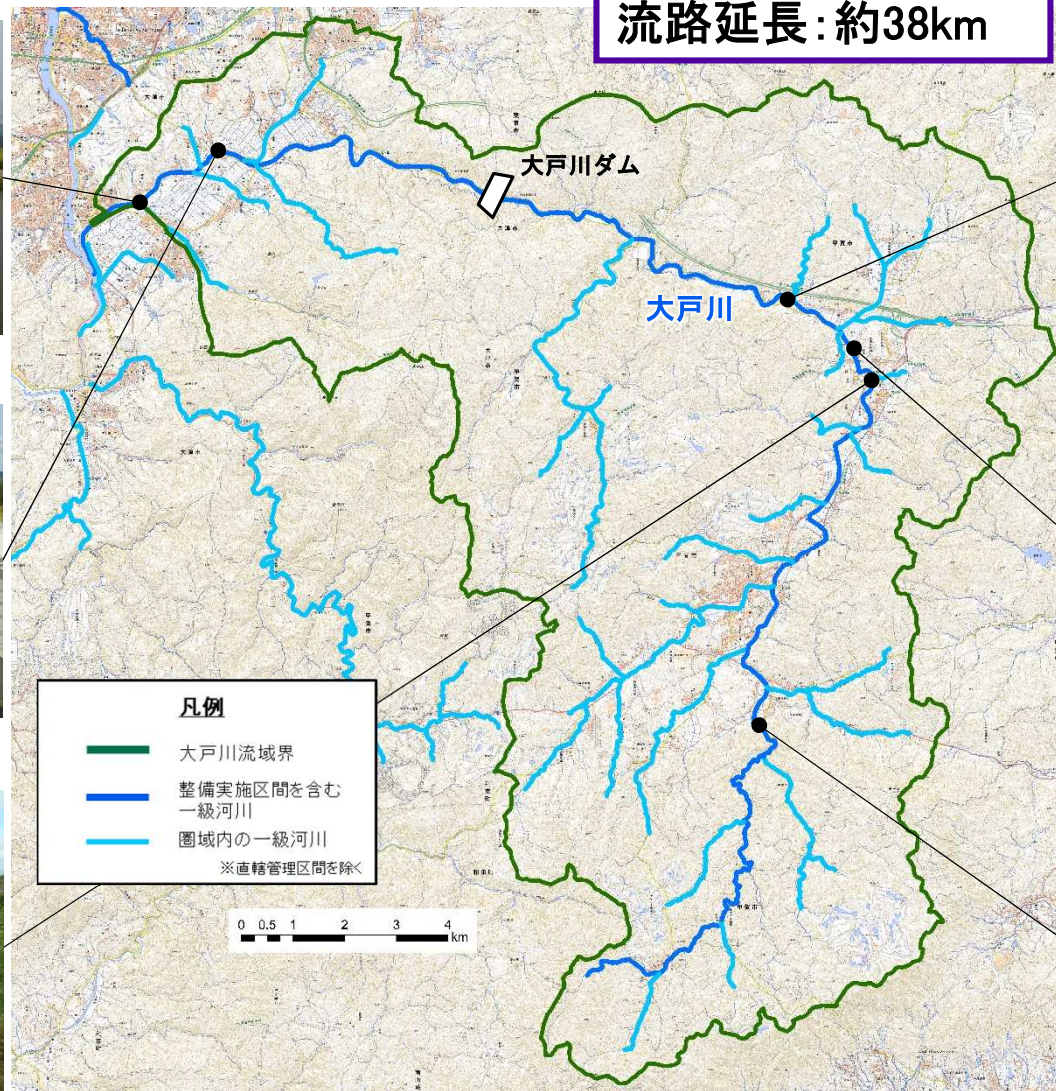
下流域(石居橋)



下流域(堂村橋)



中流域(紫香楽橋)





4.3 大戸川

② 過去の洪水被害

昭和28年 多羅尾豪雨



甲賀市信楽町多羅尾

昭和57年 台風10号



大津市石居

平成7年 5月豪雨



甲賀市信楽町黄瀬

平成25年 台風18号

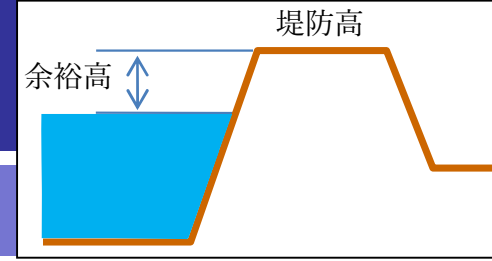


甲賀市信楽町牧

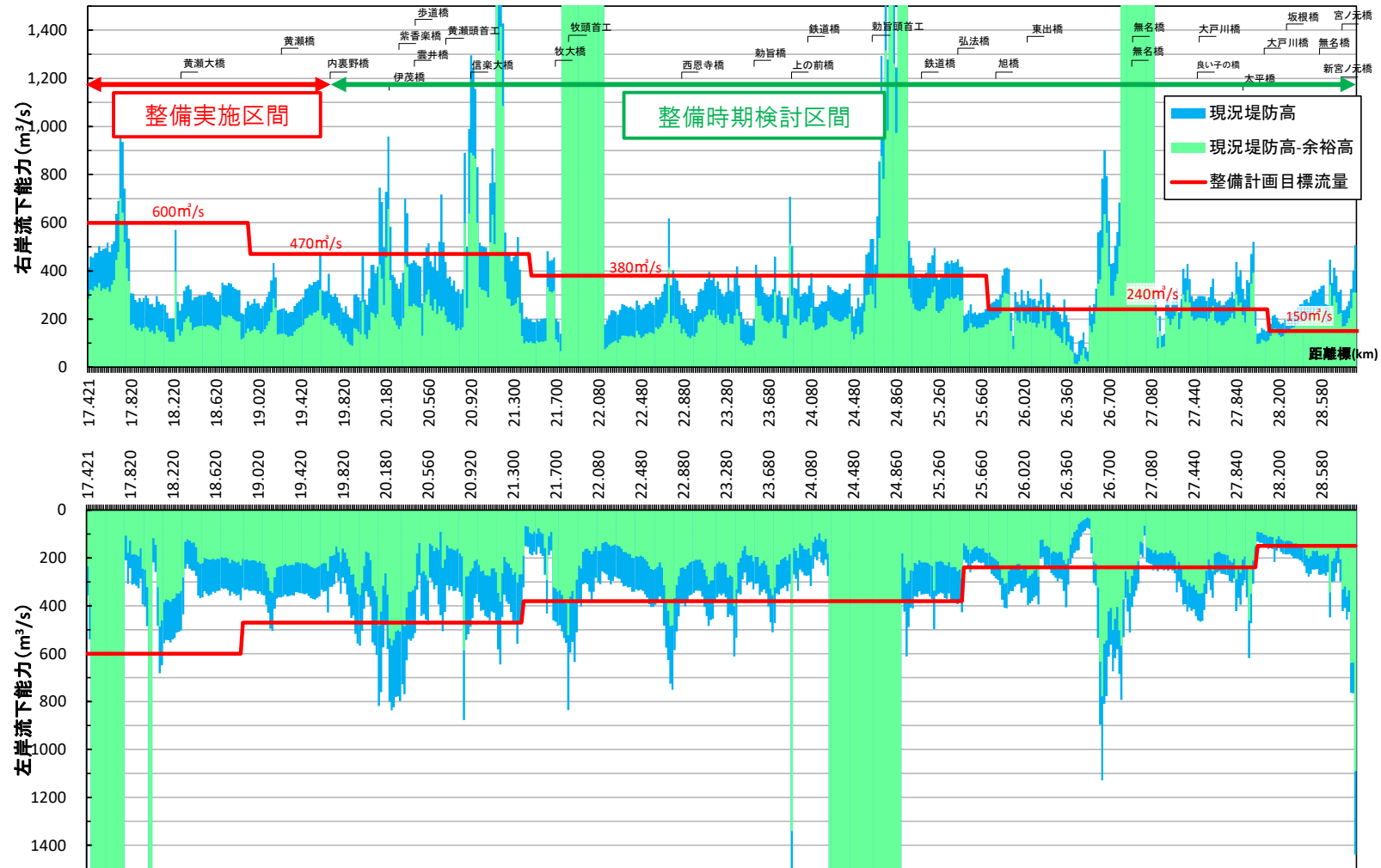


4.3 大戸川

③ 治水上の課題(流下能力図)



整備計画目標流量に対して、全川の的に流下能力が不足している。



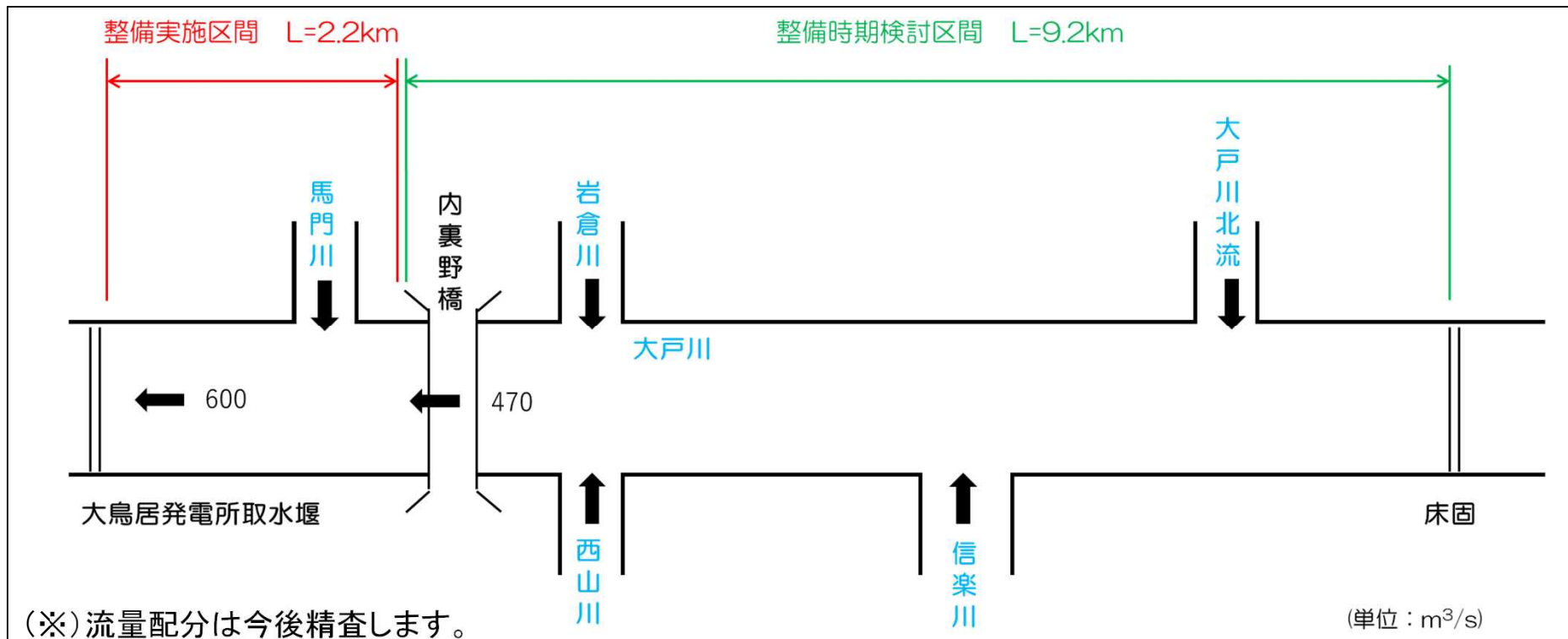


4.3 大戸川

④ 整備計画の目標(流量配分図)

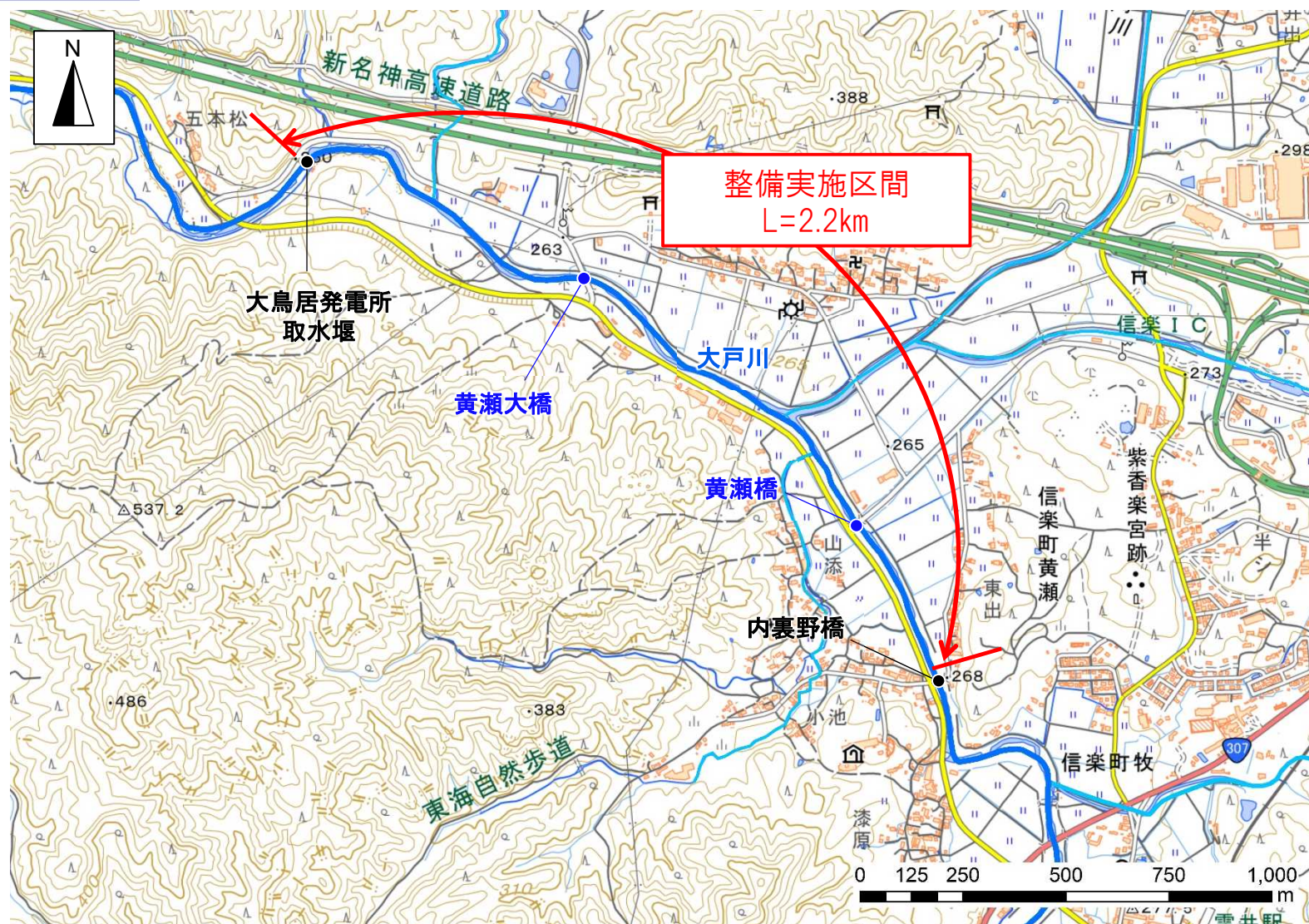
- ◆大戸川上流は、気候変動後(2°C上昇時)の状況においても昭和57年台風10号洪水※を安全に流下させることができるよう整備を行います。
- ◆計画高水流量は、馬門川合流後において600m³/sとします。

※県内における治水安全度のバランスを踏まえ、昭和57年台風10号洪水を整備計画の目標に設定しました



4.3 大戸川

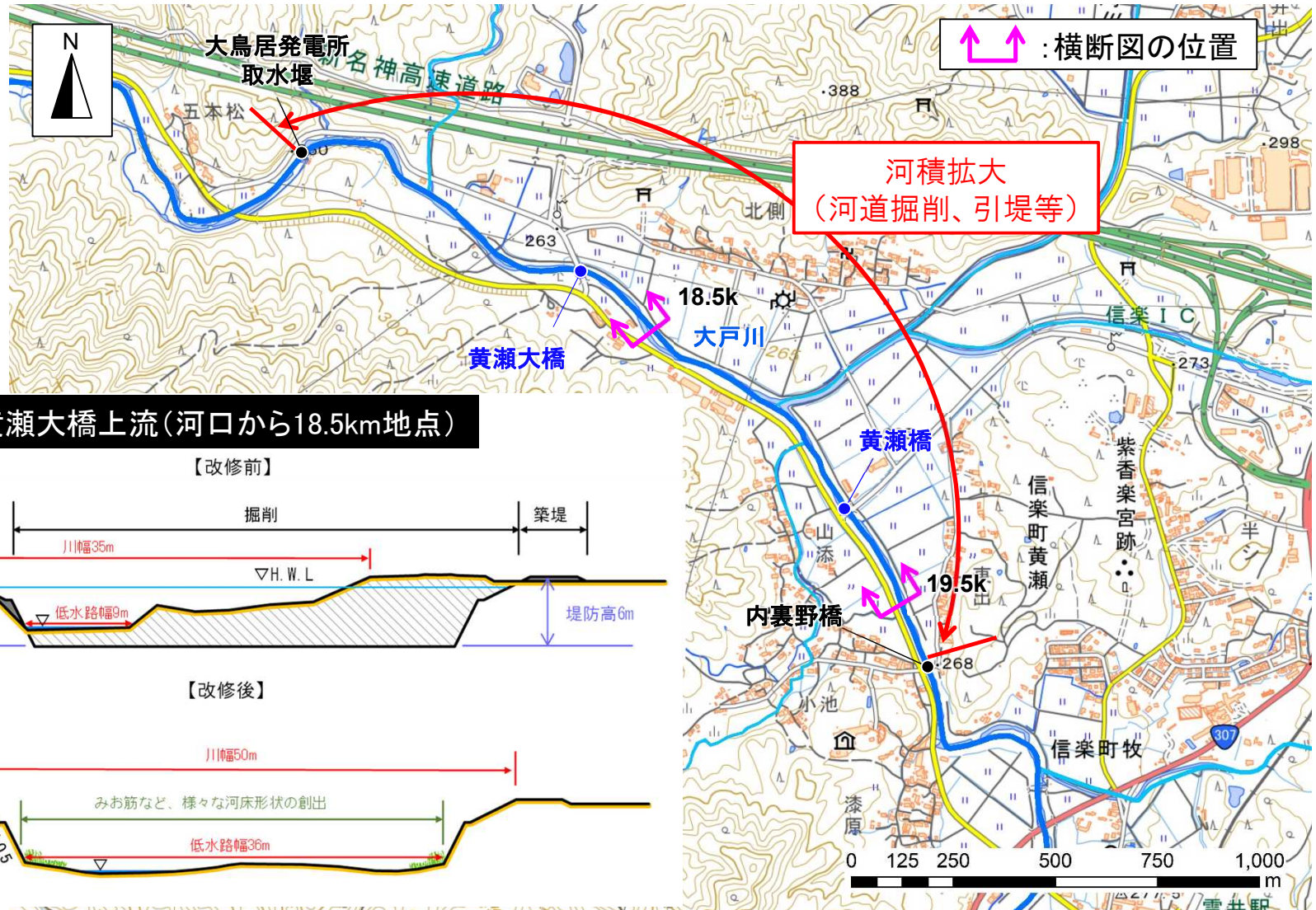
⑤ 整備計画の概要(平面図)





4.3 大戸川

⑥ 整備計画の概要(整備内容)



黄瀬大橋上流(河口から18.5km地点)

【改修前】



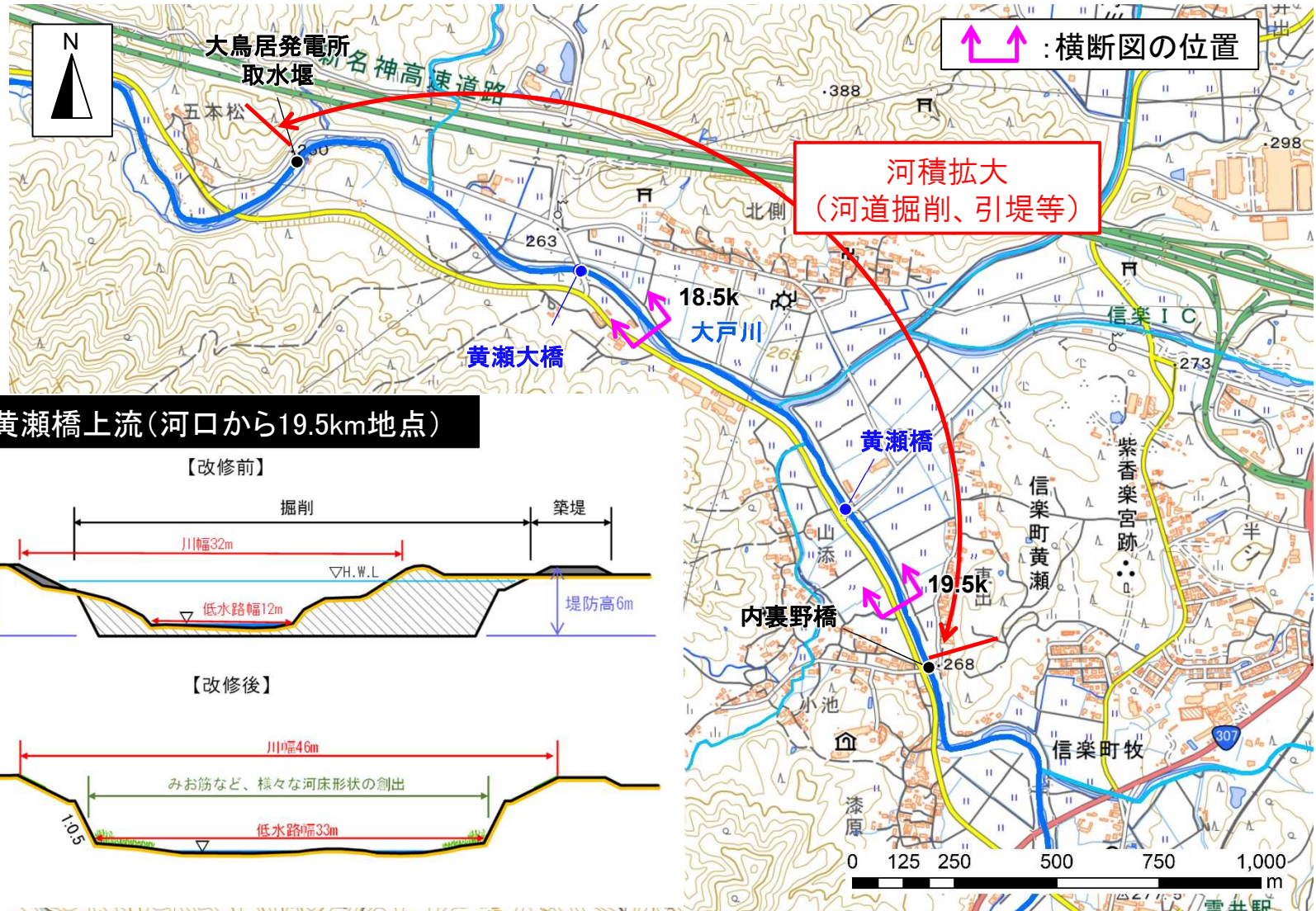
【改修後】



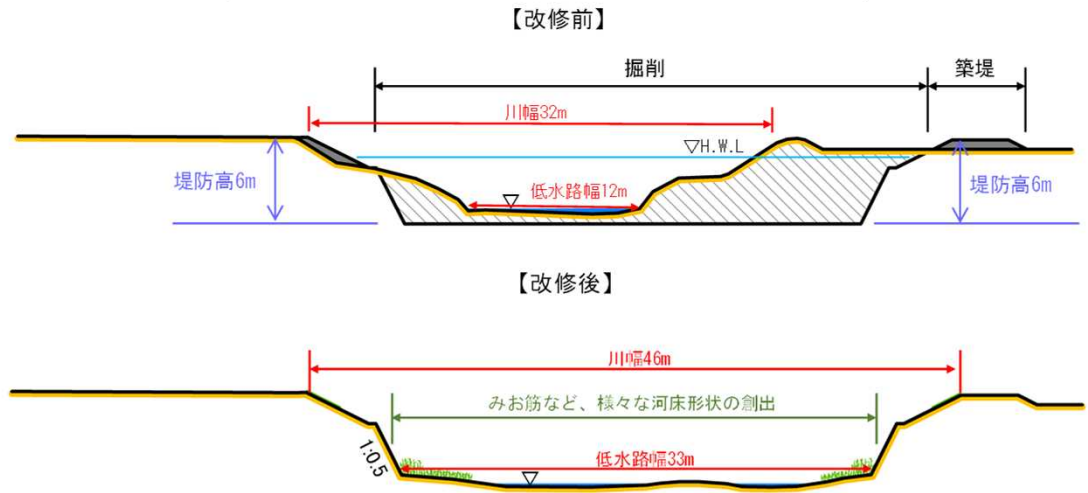


4.3 大戸川

⑥ 整備計画の概要(整備内容)



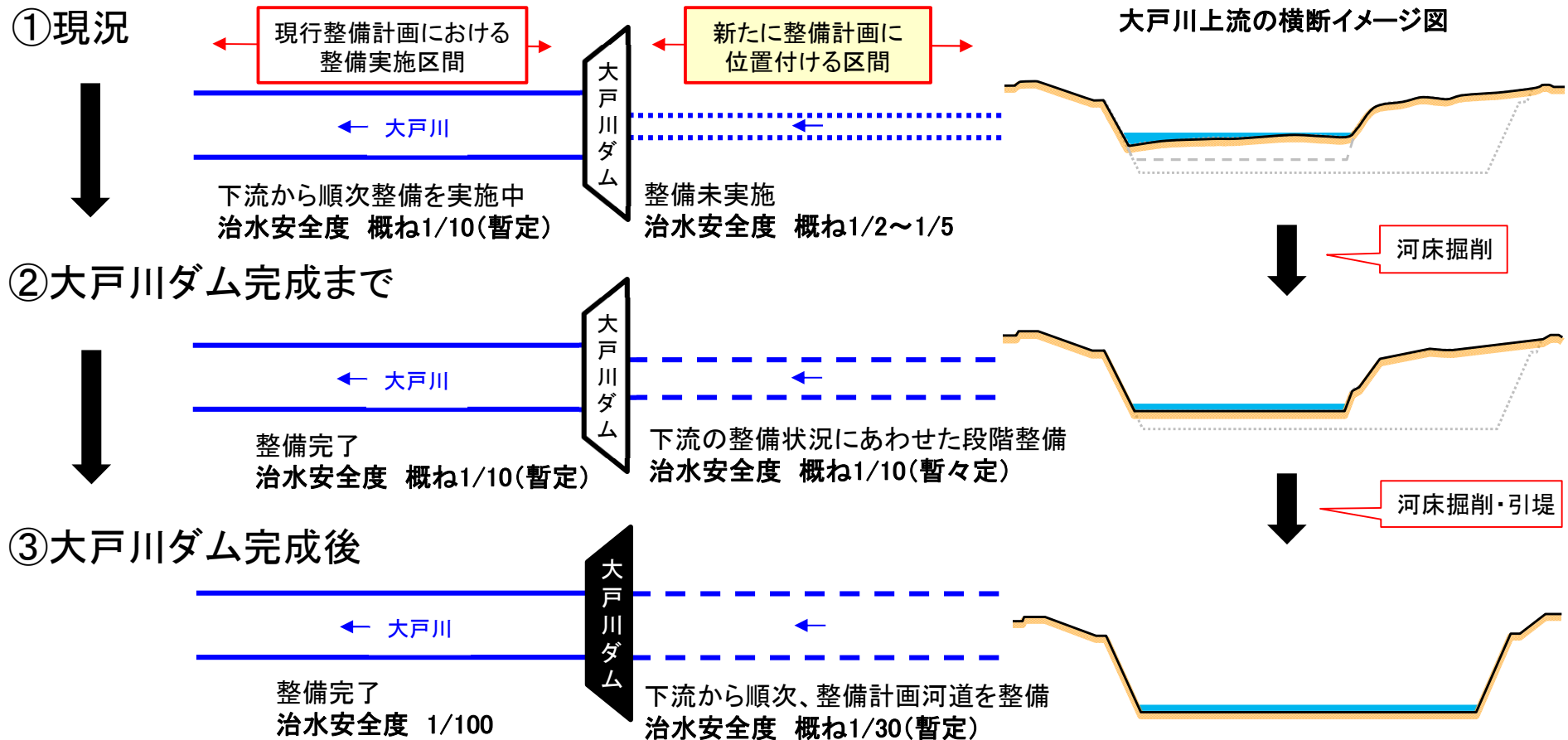
黄瀬橋上流(河口から19.5km地点)



4.3 大戸川

⑦ 治水安全度の早期発現に向けた段階整備

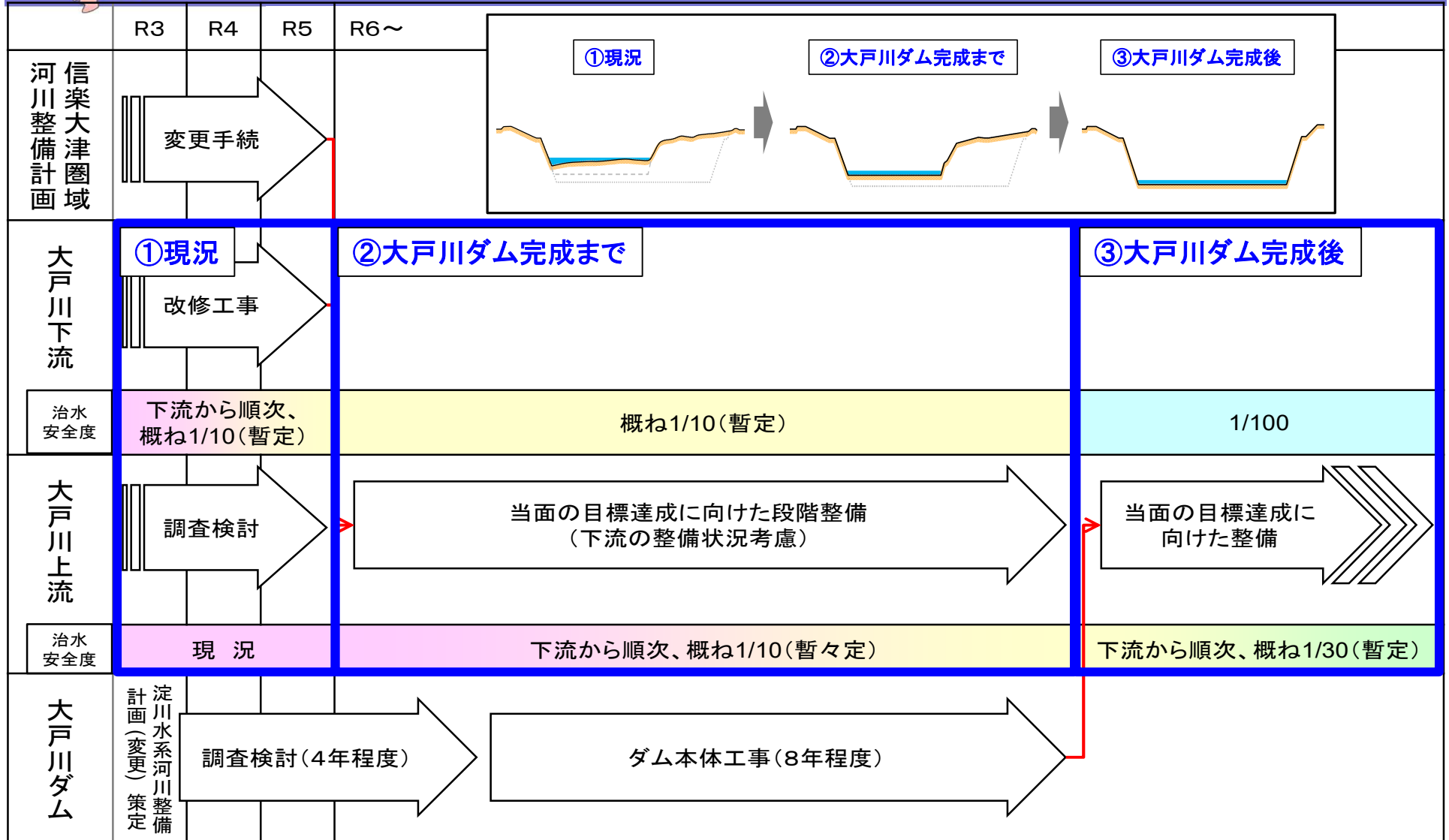
◆大戸川ダムについて、ダム本体工事に8年程度、それに先立つ調査検討に4年程度要する見込みとされているため、ダム本体が完成するまでの間は、下流の整備状況に合わせた段階整備を行い、治水安全度の早期発現を目指します。

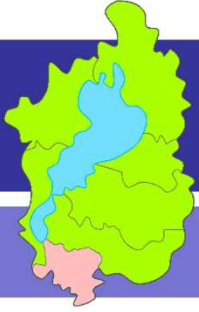




4.3 大戸川

⑧ 大戸川上流の河川整備スケジュール





5. 今後の流れについて



5.1 今後の流れ

